

# 二葉中学校区・舟栄中学校区 地域検討会たより

## 第2回地域検討会(2月15日)の概要報告

今回の検討会では、初めに、第1回の地域検討会報告会で寄せられた意見などが参考意見として報告されました。(下記1(1)、(2)を参照)それらを受け、第1回の検討会で話し合われていた具体的な検討事項について、引き続き協議しました。その結果、以下のように2つの方向と2つの課題にまとめましたので、地域の皆様に協議の概要とともにお知らせいたします。検討会では、この方向と課題に対する地域や保護者の皆様のご意見を集約して、コミュニティ協議会への提言をまとめていきたいと考えています。

### 第2回地域検討会でまとめた2つの方向と課題

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 2つの方向 | 二葉中学校と舟栄中学校を        |
|       | ・平成26年4月(時期)をめどに    |
|       | ・2つの中学校を統合する(統合の方向) |
| 2つの課題 | ・統合の方法(編入か合併か)      |
|       | ・使用する校舎(二葉か舟栄か)     |

第2回地域検討会報告会 3月12日(月)午後7時～ 舟栄中学校武道場  
(保護者説明会と併せて開催) 3月13日(火)午後7時～ 二葉中学校ランチルーム  
※ 中学校区にかかわらず、ご都合のつく会場にお越しく下さい。

第2回地域検討会の協議概要(2つの方向と2つの課題がまとまるまで)

#### 1 報告事項

##### (1) 中学生対象の報告会

新聞報道を受け生徒の不安解消のため実施しました。

##### 二葉中学校報告会 2月3日(金) 午後3時30分～

二葉中学校では、「仲間が増える」「クラスが増えるのはいい」といった統合に肯定的意見もありましたが、直接の当事者となる1年生からは、「友人関係が不安」や「受験が心配」「二葉中で卒業したい」など多くが統合に対して不安や反対の意見でした。

##### 舟栄中学校 2月15日(水) 午後3時20分～

舟栄中学校では、「舟栄中と二葉中なら素晴らしい学校生活を送れる」「活気が出るし、部活も良くなる」などの統合に肯定的な意見もありましたが、特に、1年生を中心に「統合したくない」「舟栄中の伝統を残したい」「急がなくてもいい」などの統合に反対する意見が多く出されました。

##### (2) 地域対象の報告会

##### 二葉コミュニティハウス 2月9日(木) 午後7時～

この報告会では、統合には賛成だが、統合する中学校が使用する校舎は、中学校の後に検討を控えている小学校の統合も考慮に入れ考えるべきで、案としては統合中学校は二葉中、統合小学校は栄小・舟栄中をつないで使用するのがよい。」との意見が出されました。(裏面(3)ウ関連)また、二葉中学校1年生の保護者から、「統合という話が急にできて親も子どもも戸惑っている。」「選んで入学した学校なので、二葉中学校の卒業証書がほしい。」といった意見も出されました。

##### 北部コミュニティセンター 2月10日(金) 午後7時～

この報告会では、「統合の方向には賛成だが、1年の準備期間では不十分ではないか。」「2年程度の十分な時間をかけて準備すべきではないか。」といった意見や、「準備期間は十分に取ながらも生徒の交流活動は早期に始めて、子どもたちにできるだけストレスがかからない方法を考えるべき。」などの意見が出されました。

(3) 教育委員会へ検討を求める事項について

ア 25年春に合併(新しい学校としてスタート)で統合が進められないか。(検討会での意見)

教育委員会からは、「新しい学校の体制を作ってスタートするには、準備の内容や生徒はもとより地域や保護者の負担を考えると、やはり準備期間に2年は必要であり、特に、中学校では高校入試がある関係で、編入でも1年では非常に厳しいと考える。」との説明がありました。

イ 準備期間1年で、子どもにとって本当に良い教育ができるのか。(検討会での意見)

「新しい学校の教育方針をつくり、それに向けた準備をするのは、1年ではとても難しい。」また、「来年度は新学習指導要領が実施される年で、通常の1年ではないため、この1年だけで準備するのは、生徒への影響も大きいと考えられる。」との説明がありました。

ウ 栄小と舟栄中を一体化し4小学校の統合校として使用する。(報告会の意見)

「元々、小学校と中学校では階段の段差一つとっても設計基準が違うこと、両校は隣接しているとは言えおよそ80mの渡り廊下が必要となること、特に、2つの校舎に分かれることで目が行き届かなくなり、様々な懸念が想定されることなどから、いただいたご意見については難しいと考える。」との説明がありました。

エ 二つの中学校の交流活動について。(報告会での意見)

「統合となった場合には、ひとつの学校として気持ちよくスタートするために、両校の生徒同士の学習や部活動などにおける交流活動が非常に大切である。教育委員会としてもしっかり支援していく。」との説明がありました。

2 協議

(1) 統合について

第1回の検討会で方向づけをした2つの中学校の統合については、再度、検討会の方向として確認されました。

(2) 統合の時期について

第1回の検討会では、できるだけ早期の統合を望むことから、平成25年春の統合という案が支持されていました。しかし、報告会で出された意見や統合までの準備の内容、特に、主役である生徒の意見を考慮すると、「1年での統合という案にはかなり無理があるのではないか。」「十分な期間をかけ新しい学校がよい学校となるように準備すべき。」との意見が大勢を占め、平成26年4月の統合を目指すという方向にまとまりました。



(3) 使用する校舎

第1回の検討会において現在の舟栄中学校の校舎を使うとの意見が大勢でしたが、将来の小学校の姿も見据えての学校配置を考えた意見が出され(1の(2))、二葉中学校と舟栄中学校のそれぞれを支持する意見があり、次回への課題となりました。

(4) 統合の方法

「統合まで2年ということであれば、新たなスタートを切る意味からも合併がいい。」という意見や、「やはり編入のほうがよい。」との意見も出されました。しかし、具体的な統合の方法を方向づけるまでには至らず、次回への課題となりました。

2つの方向と2つの課題について、皆様のご意見をお寄せください。ご意見やお問い合わせは、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

次回、第3回二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会は、3月15日(木)午後7時より二葉コミュニティハウスで行います。(この検討会は、地域の皆様に公開しています。)

問い合わせ先：新潟市教育委員会 教育総務課企画室(二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会事務局)

(TEL:025-226-3178 FAX:025-230-0401 E-mail:somu.ed@city.niigata.lg.jp)

配布資料や協議の概要などは、後日、新潟市のホームページに掲載いたします。